

4月19日は『地図の日』～「地図利用実態調査2018」結果発表～ 50代・60代で「スマートフォンの地図」の利用が進む！

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山 善司、以下ゼンリン)は、主に日常生活における地図の利用実態を明らかにすることを目的に、全国の2万人の男女を対象にインターネットによるアンケート調査「地図利用実態調査2018」を実施しました。その結果の一部を、4月19日(木)の『地図の日』^(※)に向けて発表します。本調査は2012年から実施している定点調査で、今回で7回目となります。

※地図の日:寛政12(1800)年旧暦閏4月19日、伊能忠敬が1回目の測量の旅となる蝦夷地に向けて、江戸を出発した日と言われています。

■調査結果ピックアップ

・8割以上の方は1年以内に何らかの地図を利用

「1年以内に地図を利用している人」は、全体の84.1%。定点調査開始以降、7年連続で8割以上の方が地図を使っています。

・スマートフォンでの地図・位置情報サービスの利用が進む

実際に使った地図サービスのうち、「スマートフォン用インターネット地図」(48.8%)や、「スマートフォン用位置情報関連サービス^(※)」(26.9%)など、スマートフォンでの地図や位置情報サービスの利用が進んでいます。

・移動する際に見た地図は、スマートフォンの地図が他を圧倒

「移動するとき」に利用した地図を聞いたところ、「スマートフォンの地図」が62.0%で最多でした。

・50代・60代も、紙地図やパソコンの印刷よりもスマートフォン地図を利用

移動する際に見た地図は、全体で見ると「スマートフォンの地図」が62.0%で最多。年代別で見ると、若年層で多く利用されている「スマートフォンの地図」が、50～60代でも「紙地図」や「パソコン用地図を印刷したもの」を逆転。この世代でも「スマートフォンの地図」の利用が進んでいる結果となりました。

※乗換案内、チェックインサービス、位置情報ゲームなど

【調査概要】

・調査期間 2018年2月9日(金)～2月14日(水)

・調査対象 全国の18～69歳の男女

・有効回答数 :20,000人

・調査方法 :インターネット調査

■1年以内の地図利用

1年以内に地図を利用した人の割合は、84.1%で、2012年の定点調査開始以降、7年連続で8割以上の人が地図を利用しています。[図1]

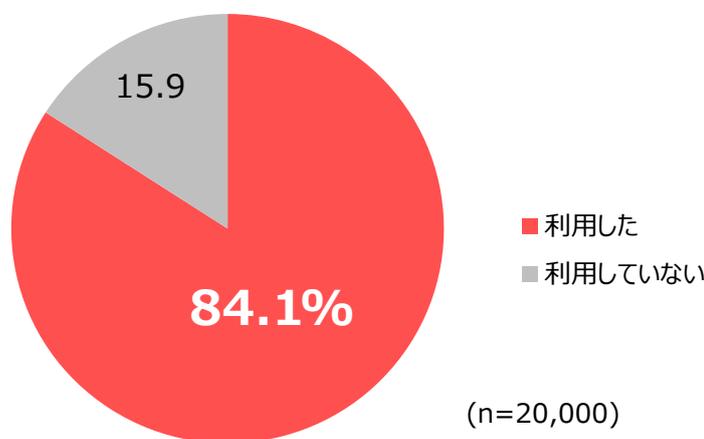


図 1 | 1年以内に何らかの地図を利用した人の割合（単一回答）

商品・サービス別にみると、「パソコン用インターネット地図」が57.8%、「スマートフォン用インターネット地図」が48.8%、「スマートフォン用位置情報関連アプリ」が26.9%、「ガイドブックや地図帳などの紙地図」が21.4%、「カーナビ」が29.0%、となりました。「スマートフォン用インターネット地図」や、「スマートフォン用位置情報関連アプリ」の利用が進む一方、「パソコン用インターネット地図」や「紙地図」の利用は、引き続き減少となりました。[図2]

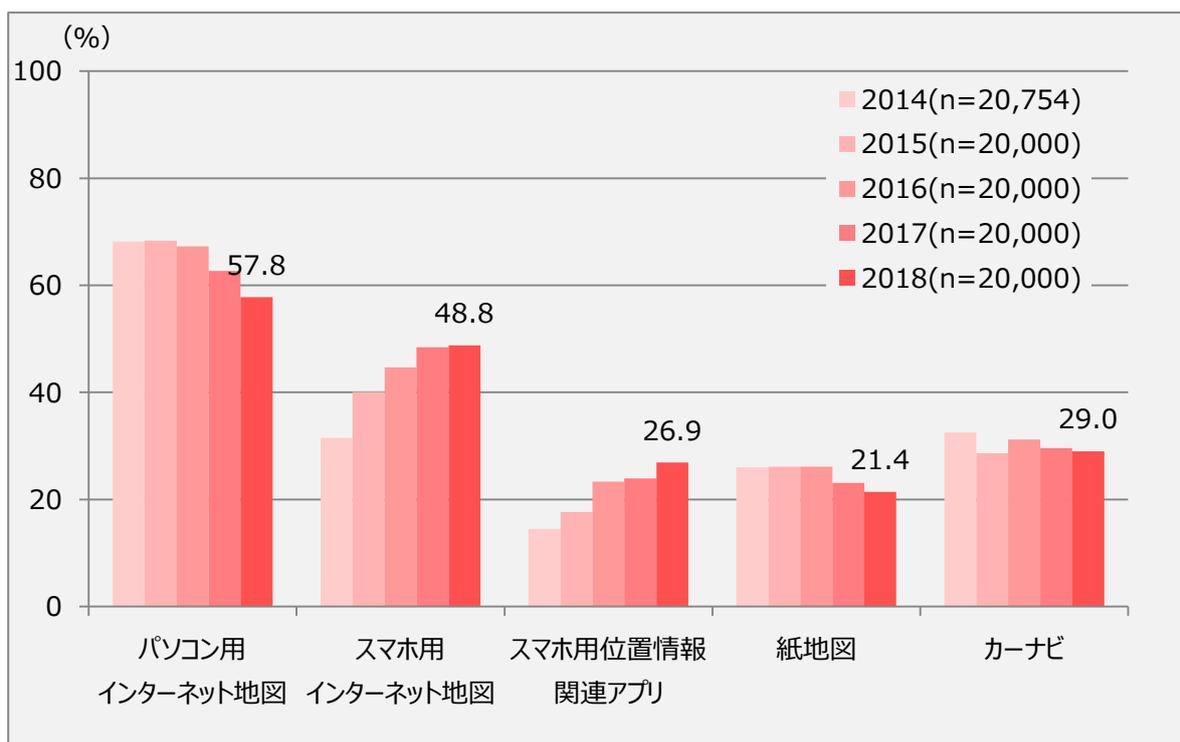


図 2 | 1年以内に利用した地図関連商品・サービス（複数回答）

■移動するときに見た地図

「移動するとき」について利用した地図を聞いたところ、「スマートフォンの地図」が62.0%で最多でした。[図3]

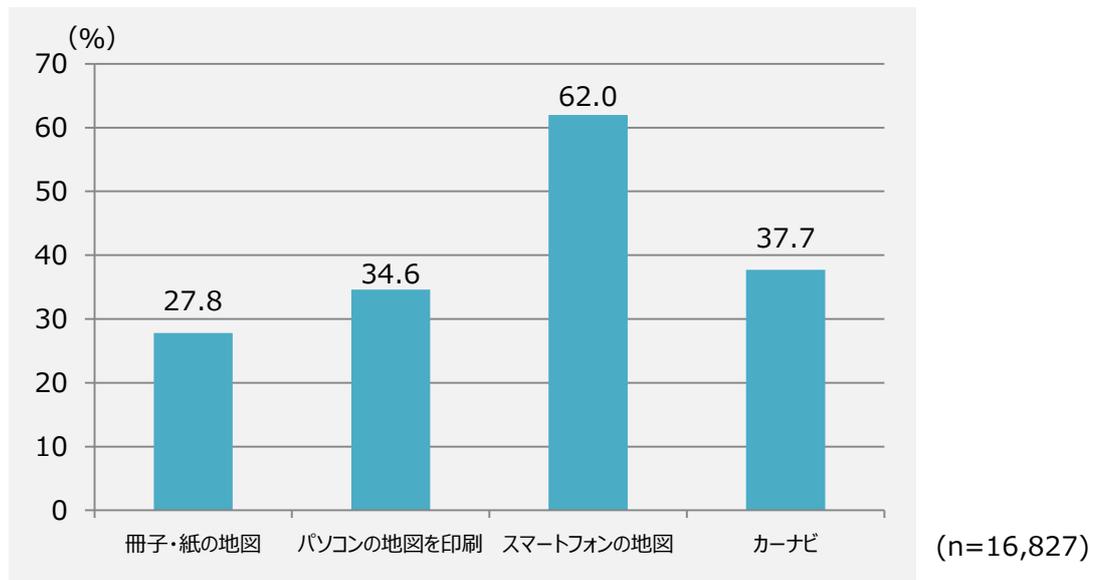
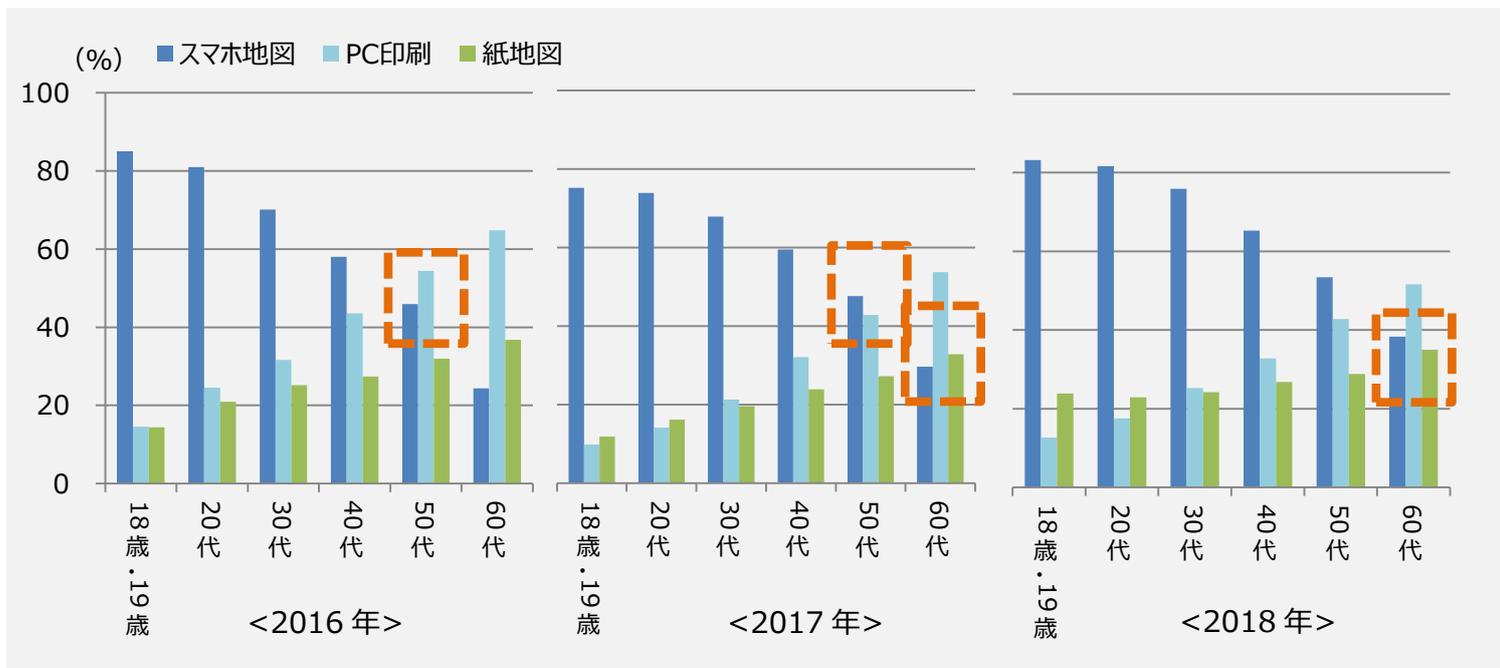


図3 | 移動するとき1年以内に利用した地図（複数回答）

このうち、「スマートフォンの地図」と「パソコンの地図を印刷」、「冊子・紙の地図」について、2016年から2018年までの結果を年代別に見てみると、50代において、2017年に「スマートフォンの地図」が「パソコンの地図を印刷」を上回っています。また、60代を見ると、2018年に「スマートフォンの地図」が「冊子・紙の地図」を上回りました。若年層だけでなく、50代・60代でも「スマートフォンの地図」の利用が進んでいるようです。



(n=16,827)

図4 | 移動する際利用した地図のうち「スマートフォンの地図」、「パソコン用地図を印刷」、「冊子・紙の地図」の年代別比較（複数回答）

・「地図利用実態調査2018」の詳細データ資料 <http://www.zenrin.co.jp/dl/map/18.html>

「地図利用実態調査2018」のより詳細な調査結果を、別途ダウンロードしていただけます。

【掲載項目】

- 1年以内の地図利用率
- 移動するときに使う地図（性年代別結果）
- 迷ったときにまず頼るもの（性年代別結果）
- 《ビジネスパーソン編》 業務での1年以内の地図利用率、1年以内の利用機器

